

2018年合格目標
中上級コース

徹底比較

論文 対策 コース編

2018年合格目標 論文対策コース	基本データ			カリキュラム回数						学習時間			
	開講時期	学習期間	学習ペース	総回数	インプット	短答⇄論文 ハイブリッド講義	論文対策	解法マスター	アウトプット	総学習時間	インプット 学習時間	解法マスター 学習時間	アウトプット 学習時間
● 論文集中本科生	7月・8月	11～12ヵ月	週1～2回	全65回	30回	25回	5回	10回	25回	185時間	87.5時間	25時間	72.5時間
● 上級論文本科生	10月	9ヵ月	週1～2回	全44回	12回	—	12回	10回	22回	120時間	30時間	25時間	65時間
● 論文答練本科生	1月	6ヵ月	週1～2回	全30回	8回	—	8回	—	22回	85時間	20時間	—	65時間
● 論文答練パック	1月	6ヵ月	週1回	全24回	2回	—	2回	—	22回	70時間	5時間	—	65時間

論文集中本科生

VS

上級論文本科生

VS

論文答練本科生

VS

論文答練パック

の違い

TACの中・上級コースは、受験経験者専用で作成されたカリキュラムであり、弁理士試験合格に必要な知識が習得できるインプット講座、習得した知識を正しく得点に結びつける解法マスター講座、本試験に向けて、実践力を養っていくアウトプット講座で構成されています。ここでは、論文合格を目指す4つの本科生・パック生の違いを紹介します。本科生・パック生を選択する際の参考にしてください。

① 開講時期が違う！

📌ここがポイント！

7月・8月開講 論文集中本科生

学習時間をより多く確保できる。

10月開講 上級論文本科生

秋から効率的に学習できる。

1月開講 論文答練本科生

年明けから集中的に過去問と演習で学習できる。

1月開講 論文答練パック

年明けから集中的に演習中心に学習できる。

7月・8月開講の論文集中本科生は、短答本試験まで実施していた学習ペースを維持したまま、継続して学習できます。また、多くの学習時間を確保できるので、いち早くライバルに差をつけることができます。
10月開講の上級論文本科生は、集中的に学習できるカリキュラム構成のため、効率的かつコンパクトな学習をすることができます。
1月開講の論文答練本科生、論文答練パックはともに年明けから演習中心に集中的に学習できます。

② インプットが違う！

📌ここがポイント！

論文集中本科生

短答・論文を同時並行学習する
短答⇄論文ハイブリッド講義

上級論文本科生

受験経験者専用講義の
論文上級講義

論文答練本科生

過去問を通じて、傾向と対策を分析する
論文過去問研究

論文答練パック

アウトプット中心のカリキュラムのため
インプット講義はなし

論文集中本科生は、短答⇄論文ハイブリッド講義がカリキュラムに含まれます。短答と論文を同時並行学習することにより、知識の相乗効果が図れ、短答合格に必要な「正しい知識」を身につけることで、論文合格に必要な「知識を活用できる力」を養成できます。
上級論文本科生は、受験経験者専用開発された論文のインプット講義がカリキュラムに含まれます。多くの受験生が苦手としている論点や押さえておくべき論点を重点的に補強することができます。
論文答練本科生は、過去問を研究し、本試験の傾向と対策を押さえ、重要な論点をカバーすることができます。
論文答練パックは、アウトプット中心のカリキュラムのため、知識形成のためのインプット講義はございません。

③ アウトプットは共通！

インプット講義はそれぞれの学習状況によって違いがあるため、学習目的やレベルに合わせた形でカリキュラムを変えていますが、直前期に実施されるアウトプット講義は、論文集中本科生、上級論文本科生、論文答練本科生、論文答練パックともに共通です。
実施される答練や全国公開模試を受講することで、多くのTACのライバル内での正確な位置づけなど合格に必要な情報を把握することができます。そのため、アウトプットのカリキュラムは共通としています。

結論！

このような方に
オススメ

- 2018年論文合格を目指す方
- 論文対策が初めての方
- 学習時間を多く取りたい方
- 基本知識が不足している方

論文集中本科生

- 2018年論文合格を目指す方
- インプットを集中的に学習したい方

上級論文本科生

- 2018年論文合格を目指す方
- 2017年の論文本試験であと一歩だった方
- 過去問を研究したい方
- 演習を中心に学習したい方

論文答練本科生

- 2018年論文合格を目指す方
- 2017年の論文本試験であと一歩だった方
- 演習を中心に学習したい方

論文答練パック